学校番号	3003

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校数学Ⅱ」　（実教出版）						
副教材等	すらら						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業を大切にすること

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
【知識及び技能】
複素数と２次方程式，３次方程式，三角関数及び指数・対数関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考察し表現できるようにする。また、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付け考察できるようにする。さらに、社会の事象などから設定した問題を考察できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し、数学を活用しようする姿勢を身に付ける。また、数学の学習の中で粘り強く考えられるようにする。そして、問題解決を振り返り考察を深めることができるようになることで、創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するかどうか。 ・事象を数学化し，数学的に解釈するかどうか。 ・数学的に表現・処理するかどうか。	・論理的に考察し表現できるかどうか。 ・事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付け考察できるかどうか。 ・社会の事象などから設定した問題を考察できるかどうか。	・数学のよさを認識できるかどうか。 ・数学を活用しようとしているかどうか。 ・粘り強く考えられるかどうか。 ・問題解決を振り返り考察を深めることができるかどうか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	複素数と方程式	複素数と2次方程式	a:虚数単位を用いて虚数の四則演算ができる。 b:虚数を用いて２次方程式の解の拡張し、それを表現できる。 c:すべての２次式を因数分解できることで、複素数の良さを感じることができるようになる。	定期考査	定期考査 レポート 発表	ノート レポート 発表
	三角関数	三角関数	a:三角比を拡張して三角関数を理解することができる。 b:三角関数のグラフを描いたり、三角関数の加法定理を用いて、様々な角度に対する三角比を計算したり、三角関数の合成を思考したりする。 c:三角関数が周期関数であることの良さを感じることができる。	定期考査	定期考査 レポート 発表	ノート レポート 発表
2学期	指数関数	指数関数	a:指数を拡張して、指数法則を用いた計算ができるようになる。 b:指数関数のグラフを描いたり、性質について思考したりする。 c:指数を拡張することの良さを感じることができる。	定期考査	定期考査 レポート 発表	ノート レポート 発表
	対数関数	対数関数	a:対数という概念を獲得して、対数に関する計算ができるようになる。 b:対数関数のグラフを描くことができ、そこから対数関数の性質を思考することができる。 c:常用対数の良さを認識することができる。	定期考査	定期考査 レポート 発表	ノート レポート 発表
3学期	複素数と方程式	剰余の定理,因数定理と3次方程式	a:剰余の定理と因数定理を理解する。 b:因数定理を用いて３次式を因数分解する。それを応用して３次方程式の解法を表現する。 c:因数定理を用いて３次方程式を解くことに粘り強く取り組む。	定期考査	定期考査 レポート 発表	ノート レポート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度